

平成30年度麻布大学同窓会富山県支部総会報告

6月17日、麻布大学生命・環境科学部 環境科学科の川上泰先生をお招きして、平成30年度富山県支部総会が開催されました。総会では、昨年度の事業・会計報告、今年度の事業予定・予算案などについて原案とお承認されました。また、昨年10月に静岡県にて開催された中部ブロック会議の概要について事務局より報告されました。

例年ブロック会議では多くの支部が、いかに若手を同窓会に呼び込み、活気ある活動にするかを課題として挙げています。本県支部では、在学中の本県出身準会員に図書券を贈呈する事業を行い、支部との繋がり強化と支部活動への理解促進を図っています。今年度の総会では、本事業について、贈呈するだけでなく同窓会入会促進のコメントの追加や受領書コメント欄に近況記入のお願いなどを行い、より繋がりを深めてはどうかとの意見がありました。本事業が、若手会員確保による支部活動のさらなる活性化に結びつくように検討していきたいと思っております。

また、総会後は、川上先生より大学の現況と研究されているアニサキスに関してご講演をいただきました。アニサキスは近年発生が増加している食中毒として、ニュース等でもたびたび取り上げられており、会員一同、興味深く拝聴しました。講演を通して、参加者全員が学生時代に戻り、母校を懐かしむと共に新たな知見を学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。

総会後には、川上先生を囲んで、懇親会を開催いたしました。懇親会の中では、世代を超えて学生時代や各々の近況の話で盛り上がり、楽しいひとときを過ごすことができました。遠方からご参加いただいた川上先生、誠にありがとうございました。

今年度は、開催時期を変更したこともあり、参加者が少なかったのですが、来年は多くの会員が参加し、さらに新たな会員が増えるよう活動を行っていきたく思います。

“敵に利あらず時去りて 勢い誇るわが麻布 一刻の後に敵はなし ただ聞こゆるは勝利の曲“

(平成15年卒 水木 亮史)

